

オープンアクセス推進に向けた特別セミナー



オープンアクセス(OA)の最新トレンド および粗悪学術誌(ハゲタカジャーナル)への対処について ～効果的な研究成果発信にあたって研究者に求められる心得(入門編)～

11.22 水 16:00 ▶ 17:30



花田謙一氏

COVID-19によりオープンアクセス(OA)化が加速し、研究成果やデータのOA化が重要度を増しています。一方で、粗悪なOAジャーナルの増加によって、研究者や大学の評判に傷がつく危険もより身近なものとなり、政府は研究成果発信のための公的プラットフォーム構築などの対策を検討しています。

本講演では、学術出版の重要要素となりつつあるOAの最新動向、利点、課題、信頼性向上に焦点を当て、研究者および大学にとって効果的なOAの活用方法への理解を進めます。

講演概要

1. OAの最新トレンドおよび基礎概念の理解
2. ハゲタカジャーナルの実態およびその判別法
3. プレプリントの最新動向および役割 など

- ・講師: EBSCO Information Service Japan 花田謙一氏
- ・講演時間: 90分
- ・講演形式: オンラインリアルタイム配信(後日動画配信)

対象者

RARA・NEXT学生フェロー、専門研究員、若手研究者、教員全般

お申込み

以下のフォームURL、QRコードからお申込みください。

<https://is.gd/g2J1TG>

お申込みをいただいた方に、
オンラインセミナーの案内をいたします。



実施主体

研究企画課・図書館学術情報課・RARAオフィス

【担当者】

立命館大学 研究部研究企画課 大西・中原

Email ritsrara@st.ritsumei.ac.jp TEL 075-813-8199